

花壇づくりワークショップ ニュースレター

Vol. **01**
平成 30 年 9 月 12 号

日 時：平成 30 年 9 月 12 日 (水) 9:00 ~ 9:30 全体説明
9:30 ~ 9:50 スキルアップ講座
9:50 ~ 10:30 ボーダー花壇デザイン (グループ作業)
場 所：馬見丘陵公園 10:30 ~ 10:40 休憩
ボランティアハウス 10:40 ~ 11:20 ハンギングバスケット作成
参加者：23 人 11:20 ~ 11:45 質問、アンケート



▲9/12 時点の花サポーター花壇

今年度の全体スケジュール

	開催日	内容
第 1 回	9/12 (水) 9:00 ~ 12:00	・オリエンテーション ・スキルアップ講座 ・ハンギングバスケット作成
第 2 回	9/19 (水) 9:00 ~ 12:00	・ボーダー花壇デザイン (秋花壇)
馬見フラワーフェスタ 2018/10/6 (土) ~ 2018/10/14 (日)		
第 3 回	12/12 (水) 9:00 ~ 12:00	・ボーダー花壇施工 (冬花壇)
馬見クリスマスウィーク 2018/12/21 (金) ~ 2018/12/25 (火)		
第 4 回	2/27 (水) 9:00 ~ 12:00	・ハンギングバスケット作成 ・ボーダー花壇デザイン (春花壇)
第 5 回	3/13 (水) 9:00 ~ 12:00	・ボーダー花壇施工 (春花壇)
馬見チューリップフェア 2019/4/6 (土) ~ 2019/4/14 (日)※予定		

スキルアップ講座の開催

今年度もフラワーフェスタ、チューリップフェアに向けた花壇づくりワークショップが始まりました。第 1 回目の本日は、今回初めて参加する方に向けて、ガーデニングの基礎を学ぶスキルアップ講座を開催しました。毎年参加している方々にとっては復習することが大部分でしたが、ガーデニングに正解はありません。花が枯れてしまったり、うまく育たないときは基本的に立ち戻り、植物が植えられている環境や気候等を観察しながら、その植物に合った方法を見つけましょう。



秋のボーダー花壇デザイン

秋のフラワーフェスタにお披露目するための、ボーダー花壇のデザインを行いました。今年度は 4 班に分かれてグループ作業を行いました。1/5 に縮小した花壇図面の上に、植えたい花のカードを並べて、全体の色合いや植え付け密度の検討を行いました。今回の花壇のテーマは「秋を奏でる花のコンサート」で、花壇をステージと見立てて、花たちが歌っているイメージを表します。ボーダー花壇の基本である、手前に低く、奥に高い苗を配置することを意識しながら、各班検討してデザインを行いました。



ハンギングバスケットを作ってみよう！

昨年度の花壇づくりワークショップの最終日に「花壇づくりワークショップのを通して、どんなことをやりたいか？」というアンケートを行ったところ、右のような意見がありました。

この中から、今年度はハンギングバスケットの作成に挑戦します。ハンギングバスケットとは、壁やフェンスにかけたり、ぶら下げたりして使うコンテナを指します。地面において使うコンテナと比べて、いろんな方向から見ることができたり、空間を有効活用することができます。

◆ワークショップでやりたいこと（アンケート）◆

- ・樹木の講義
- ・ラベンダーの群生
- ・バラ（バラ園）の剪定、管理の学習会
- ・公園内の樹木の名札付け
- ・毛氈花壇（バラ園のセンペルセコイヤがあった所）
- ・コキアの森（インスタ映え）
- ・季節の花をもう少し増やす
- ・ハンギングバスケットの展示（家庭で参考になる作品展）

◆◆◆ハンギングバスケットの作り方◆◆◆

今回はぶら下げるタイプのハンギングバスケットの作成方法を紹介합니다。ハンギングバスケットはとても乾燥しやすいです。ご家庭で作るときはハンギングバスケットの内側にビニールを敷いた上に土を入れる等で、水持ちを良くしましょう。

◆用意するもの◆

- ・ハンギングバスケット（今回使用したのは直径 30 cm、4ℓ 土が入る大きさ）
- ・ハンギング用培養土
- ・苗（キバナコスモス、ゴシキトウガラシ、下垂性ペチュニア、ジニア 各 2 株ずつ）
- ・土入れ、割箸、バケツ



1 向きの設定

ハンギングバスケットの種類や設置方法により、花を全方向から見るのか、一方向から見るのかを決めます。

今回は一方向から見るようにするので、自分の正面にハンギングバスケットの正面が来るように、バケツの上にハンギングバスケットを乗せ、向きを設定します。



3 苗を並べる

苗をビニールポットを付けたまま並べて位置を調整します。1で設定した方向からきれいに見えるよう、苗の向きを調整したり、高さが足りない場合は更に土を足します。全方向から見るようにする場合は、ハンギングバスケットを回しながら確認しましょう。



2 土を入れる

苗がちょうどよい高さになるまでハンギングバスケットに土を入れます。ハンギング用の培養土は、保水性がよく、軽めに配合されています。

ウォータースペース（水やりでコンテナから水や土が溢れないよう、わずかな時間水が溜まるスペース）を約 2 cm 残しておきます。



4 植え付け

ビニールポットを外して苗を並べます。土入れを使って外側から苗の間に土を足しましょう。割箸で苗と苗の隙間にも土をすき込みます。

最後に鉢底から溢れるまでたっぷり水をやりま

質問コーナー

Q. 肥料をあげているのに、ガーベラの花芽が出ません。葉は沢山ついていて、春には花も咲いていました。花を咲かせるには、どうすればいいでしょうか？

ガーベラは春と秋に花を咲かせる宿根草で、赤、ピンク、白、黄、オレンジ等、色の種類が豊富です。日当たりがよく、温暖な気候を好みます。日当たりが悪いと、葉が茂るだけで花が咲きにくい性質があります。また、葉が茂ることで更に日照不足となって花芽が付きにくくなります。

対応策は、古い葉や花芽が付きそうな部分の葉を取り除き、花芽に日光が当たるようにしてやりましょう。



▲ 県民共同花壇のガーベラ

Q. ミミズは根を切ると聞いたことがあります。土の中にミミズが沢山いるのはいいことですか？

基本的に、ミミズが沢山いるということは、土が肥えているということです。また、ミミズは有機物を食べ、根を食べることはありません。土の中の腐食物を食べ、窒素・リン酸・カリウムを含んだ糞を出します。その糞がいい土を作ります。

しかし、ミミズが多くなると鉢植えの場合、糞が多くなり、根詰まりを起こしやすくなります。根詰まりを起こすと根が腐ってしまうこともあるので、土の入れ替えを行いましょう。

地植えの場合、ミミズを餌とするモグラが出やすくなります。モグラが出ていなければ問題ありませんが、出る場合はミミズが発生しづらい環境を整えましょう。花壇の近くにコンポストなどがあると、ミミズが発生しやすくなります。

Q. キキョウの苗を何度か植え付けましたが、なかなか育ちません。

キキョウは6～10月ごろに花が咲く、花期の長い宿根草です。耐寒性、耐暑性共に強く、風通しのよい日なたを好みます。

育たないのは、おそらく乾燥が原因だと思われます。キキョウは乾燥と過湿が苦手です。夏に乾燥してしまう場合は、腐葉土やワラでマルチングをしてやりましょう。また、日なたを好みますが、育ちが悪い場合は、日光がサンサンと照る場所よりも、半日陰に移動した方がよいでしょう。



▲ キキョウ

ワンポイント！

マルチングには、土の乾燥防止のほかに、水の跳ね返り防止、土の保温、雑草防止、病害虫の防止、降雨による土の固着防止、用土の流出防止などの効果があります。